

カナダ セントメアリーズ大学

[2019年9月～2019年11月分]

経営学部2年 濁沼華奈

皆さんこんにちは。濁沼華奈です。私は2019年9月から2020年3月までの6ヶ月間の予定でカナダのハリファックスにあるセントメアリーズ大学に留学しています。私が今いるハリファックスは、来た当初は少し肌寒いくらいでしたがだんだんと寒くなってきてダウンが必要になってきました。またハリファックスは海に囲まれた港町なので海風があり気温よりも寒く感じます。

今回は留学前と後の変化、学校生活、ホームステイについて書こうと思います。



〈留学前後について〉

私が留学をしようと思ったのは2年の前期からです。高校生の時から留学に興味を持っていましたが具体的に留学をしてなにをしたいのかが決まっていませんでした。でも、行きたいと少しでも自分が思うなら悩んでいてもしょうがないと思い留学しようと決断しました。

私が海外に来たのはこの留学が初めてで、カナダに到着してから空港で入国審査を受けるのも初めてでした。空港の職員さんは、一切笑わずにたんと英語で質問してきて初めての海外、英語も全然できない私は一日目から不安でいっぱいになりました。私は半年滞在する予定なので学生ビザを取得する必要がありました。空港で一番大変なのはこのビザを取得することだと思います。空港の人はお世辞にも親切とは言えない態度です。これから留学を考えている人はここが一番の壁になると思います。ですがポンコツの私が行けたので大丈夫だと思いますが心の準備しておくことをおすすめします。

そんな私もハリファックスについて早くも3ヵ月が経ちました。最初の漠然としていた目標も今は明確になってきました。留学をしたら英語が話せるようになると思っていました。3ヵ月たって英語力が成長したかと言われれば少しリスニングが上がったくらいです。現地の人と話しかけてくれても全然会話を続けることができないもどかしさ、言いたいことを伝えることができない自分の英語力の低さに落ち込むこともありましたが逆にそれがいまのモチベーションにもなっています。カナダ人はとても優しく気さくで急に話しかけてきたりします。最初はあいさつ程度で終わってしまいましたが、ぐちゃぐちゃな文法の英語でも頑張って話そうとすると真剣に聞いてくれます。英語、全然話せなくてごめんねと言うと、皆言いたいこと分かるから全然話せてるよと言ってくれます。それから完璧を求めて話すのをためらうよりは、伝えたいことを話そうという姿勢が大事だと感じました。

また、留学を通して自分の考え方も変わってきました。いろいろな国の人と関わったことで自分の当たり前も文化が違うと当たり前ではなくなることを知り、語学以外にも多くの事を学んでいます。



〈学校生活について〉

オリエンテーションの日にテストをしてその点数によりクラス分けされます。私の授業は9時～15時半までで、金曜日だけ12時で終わります。また、セメスターが一つ終わり私は今、二つ目のセメスターを受けています。セメスターが終わるごとにレベルアップできます。二週間に一回ほどパソコンでのテストがあります。一つレベルが上がったことによりテストがぐんと難しくなりました。このテストで90%以上平均して正解すると、レベルがいきにあがれたりするので初めのレベルが低くてもチャンスがあります。

私のクラスは、13人で半分が日本人です。私と同じ9月から留学にきた日本人が多く、語学学校の半分以上を日本人が占めています。授業は、基本的に隣の人とペアになって会話することが多いです。セメスターが一つ終わるころには、英語で話すことに抵抗がなくなってきました。他のクラスやレベルが高いクラスと合同で会話したりするときがあります。人によって使う単語や言い方がちがうのでしっかりと聞いて自分で実際に使うようにしています。クラスメイトはほとんどアジア系の人です。ネイティブの人と話す機会があまりないので学校以外の活動で自主的に自分から行動して交流の機会を見つけることが大事になってきます。

語学学校の活動でセントメアリーズ大学の本科生と会話のパートナーになれる Conversation Partner というものがあります。パートナーは学生なので忙しくなかなか会えないですが、英語を一对一で話せるいい機会です。パートナーによっては全然あってくれない人などそれぞれですが、私のパートナーは忙しい中でも会う機会を作ってくれるのでとてもいい人に巡り合えたと思いました。



〈ホームステイについて〉

私のホームステイ先はマザーが一人です。ですがハウスメイトが私を含め5人います。どの家庭もハウスメイトがいるのは珍しくありませんが5人もいるのはとても珍しいです。たくさんいるのでマザーと過ごせる時間も少なくなってしまうので、自分から会話を広げてみたりして少しでも英語を話す機会を増やすようにしています。ご飯はマザーが朝、昼、晩と作ってくれます。食文化が全然違うので食べたことがない味だったり、初めての料理であることが多いです。現地の家庭料理を食べられることはホームステイのいいところだと思います。自分の苦手なものが出たときはNoと日本人は言えませんが、Noと言わないと何回も出てきます。勇気をもっていってみると案外さらっとOkと言ってくれるので初めにきちんと伝えることが大切です。



留学してあっという間に残り半分になってしまいました。まだまだ自分の納得のいく英語力ではないので残りの3ヵ月で少しでも成長できるように努力したいと思います。留学に興味のある皆さんの力になれば嬉しいです。最後まで読んでいただきありがとうございます。